LIXIL
SHINNIKKEI

施工説明書番号	ME-1709

改－4

歩行用補助手摺

アイアンティーク手すり 施工説明書

●この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

注意

※歩行用補助手摺本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
※雨具･洗濯物・布団等を載せないでください。
※歩行用補助手摺をみだりに改造・変更しないでください。
※歩行用補助手摺に電線等を直接載せないでください。
※本製品は歩行用補助手摺としてご使用できますが、転落防止機能はありません。転落のおそれのある場所、又は防護柵としての使用はできません。

施工時の注意事項

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●改造・変更をしないでください。
●施工後には組立・仕上げが正しく行われているかの検査・確認を実施してください。
●アンカー類（プラグボルト、ホールインアンカーなど）を施工する場合には取付け面の下地強度が十分あることを確認してから作業を行ってください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

もくじ

梱包明細……2
納まり図……3
1. 柱の設置……5
1-1. 柱飾りの取付け……5
1-2. 埋込柱の設置……5
1-3.BP（ベースプレート）柱・水平地の設置……5
1-4.BP（ベースプレート）柱・傾斜地の設置……6
2. 笠木の取付け……8
2-1. 笠木の切詰め……8
2-2. 笠木飾りの取付け……8
2-3. 笠木の取付け……8
3. 笠木部品の取付け……9
3-1. コーナー継手の取付け……9
3-2. 傾斜継手の取付け……9
3-3. エンド部品の取付け……10
3-4. 笠木溝ふさぎ材の取付け……10
4. 足元飾りの取付け……11
4-1. 埋込柱・水平地の場合……11
4-2. 埋込柱・傾斜地の場合……11
4-3. BP（ベースプレート）柱・水平地の場合……12
4-4. BP（ベースプレート）柱・水平地の場合……12
施工工事店様、販売店様へのお願い……12

■お手入れ方法について

●汚れが軽い場合は、やわらかい布かスポンジで水洗いした後に乾拭きをしてください。
●汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落し、洗剤が残らないように水洗いした後に乾拭きしてください。

梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●説明書に記載している部材・部品 (ビス含) 以外は使用しないでください。

表内の（　）は個数を表しています。

梱包名称		サイズ・区分	梱包内容
柱	埋込柱	H:800	柱（1） ブラケット受け材セット [ブラケット受け材（1）・M6X18 アップセットボルト（2） M6 用平座金（2）・M6 用バネ座金（2）]
		H:1000	
	BP 柱 （ベースプレート）	H:800	
		H:1000	
ベースプレート		平地用	ベースプレート本体（1） M6 × 18 アップセットボルト（6）・M6 用平座金（6）・M6 用バネ座金（6） アジャストアンカー（4）・M10 × 30 六角ボルト（4）・M10 用平座金（4） M10 用バネ座金（4）
		傾斜地用	傾斜地用ベースプレート本体（1） M6 × 18 アップセットボルト（6）・M6 用平座金（6）・M6 用バネ座金（6） アジャストアンカー（4）・M10 × 30 六角ボルト（2）・M10 × 45 六角ボルト（2） M10 用平座金（8）・M10 用バネ座金（4） φ 5 × 25 トラスタッピン 3 種（2）・φ 5 × 16 トラスタッピン 3 種（4） 当板（1）・バックアップ材（1）
足元飾り			足元飾り（2） φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（2）・φ 4 × 8 トラス小ネジ（2）
足元飾り取付部品セット		埋込柱傾斜地用	足元カバー傾斜地用ベースプレート（1）・バックアップ材（1） アジャストアンカー（4）・M10 × 30 六角ボルト（2）・M10 × 45 六角ボルト（2） M10 用平座金（8）・M10 用バネ座金（4） φ 4 × 25 トラスタッピン 3 種（2）・φ 4 × 16 トラスタッピン 3 種（4）
笠木	中間笠木	L:1200	笠木（1）
	端部笠木	L:1350	笠木（1）・施工説明書 [ME-1709]（1）
	単体笠木	L:1500	
ジョイント部品セット	連結部品		ジョイントスリーブ（1）・ジョイントリング（1）・φ 4 × 8 ナベタッピン 3 種（4）
	コーナー継手		コーナー継手（1）・φ 4 × 8 ナベタッピン 3 種（4）
	傾斜継手		傾斜継手（1）・φ 4 × 8 ナベタッピン 3 種（4）
エンド部品セット	エンド部品	A 型	エンド部品（1）・φ 4 × 8 ナベタッピン 3 種（2）
		B 型	
オプション部品	笠木溝ふさぎ材	L:1500	笠木溝ふさぎ材（1）
	笠木飾り	A: 標準	笠木飾り（1）・裏板（1）・φ 4 × 14 皿小ネジ（1）・φ 4 × 25 皿小ネジ（1）
		B: 傾斜	
	柱飾り		柱飾り（1）・φ 4 × 10 トラス小ネジ（2）

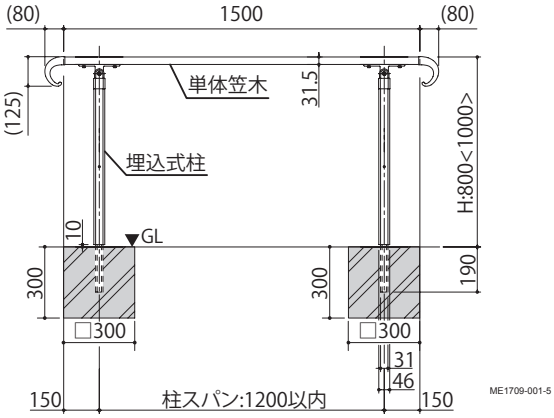
納まり図

標準納まり

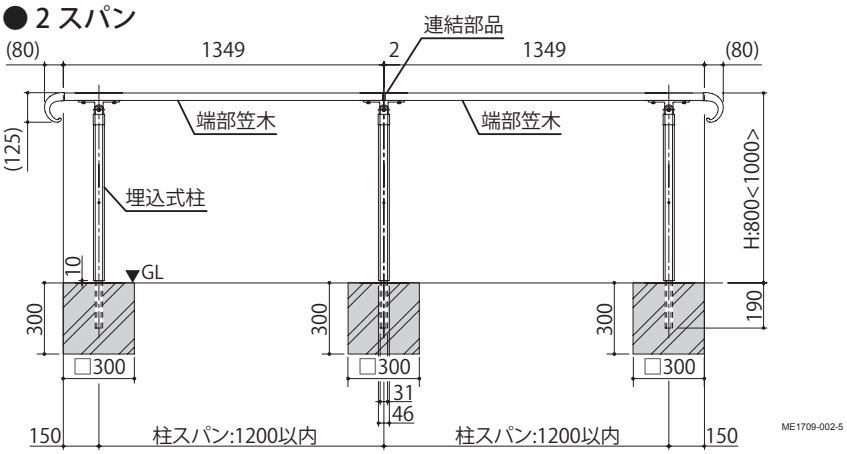
※＜ ＞内寸法は、H:1000 を示しています。
※基礎寸法は□ 300mm ×深さ 300mm としてください。

■埋込柱

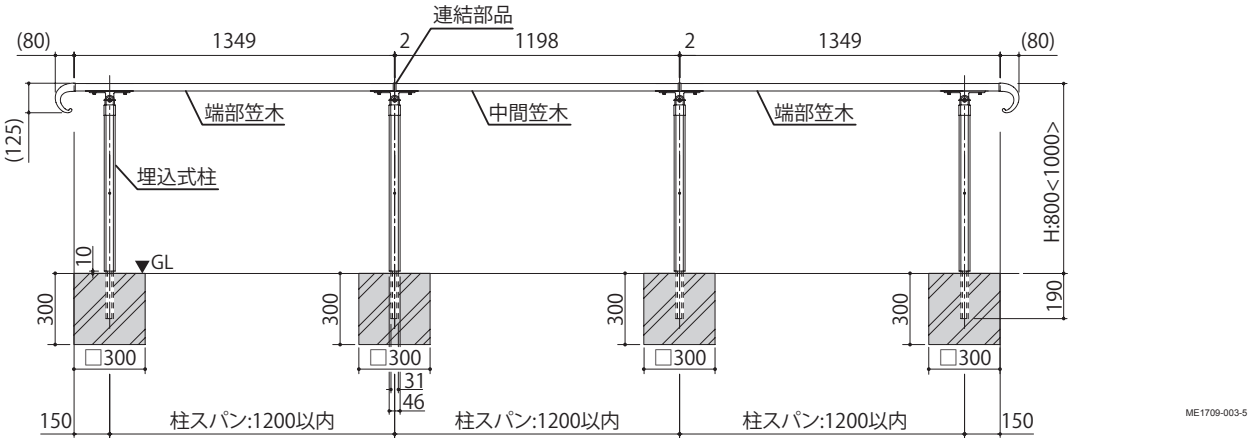
● 1 スパン



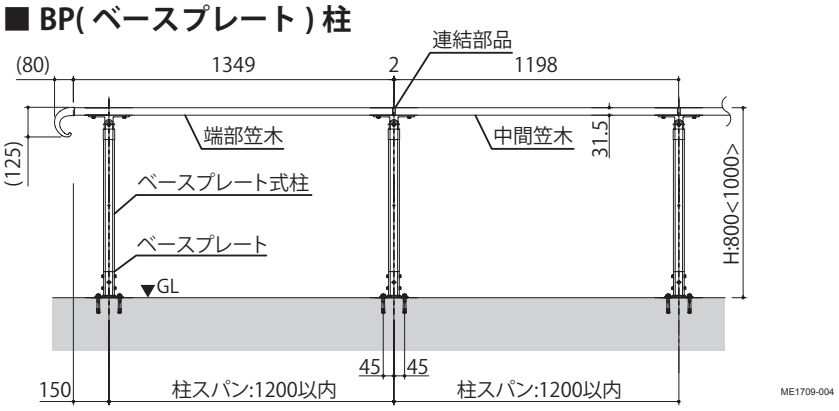
● 2 スパン



● 3 スパン

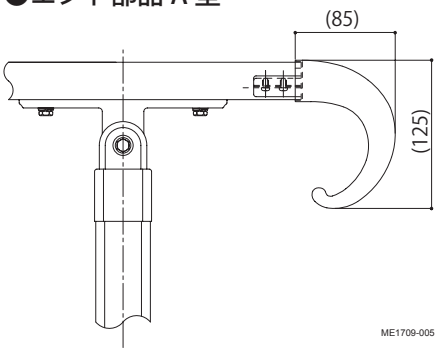


■ BP(ベースプレート) 柱

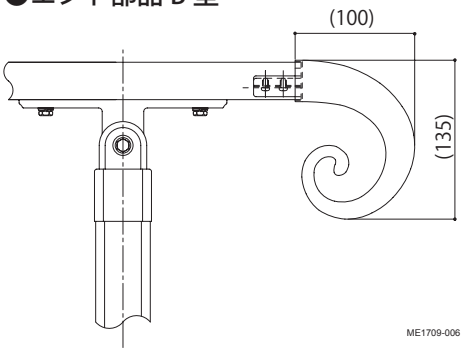


■詳細図

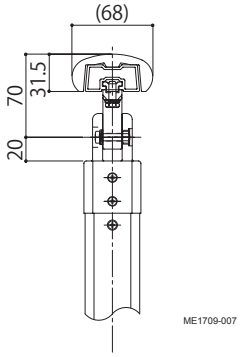
●エンド部品 A 型



●エンド部品 B 型



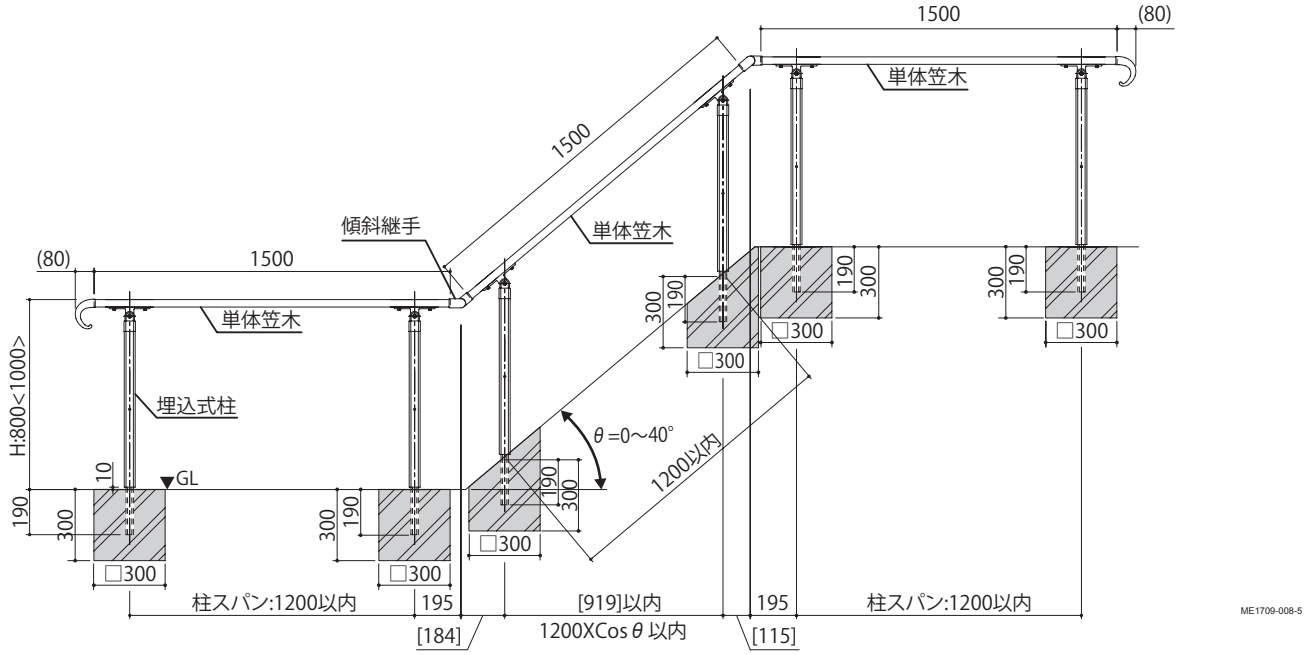
●笠木



納まり図

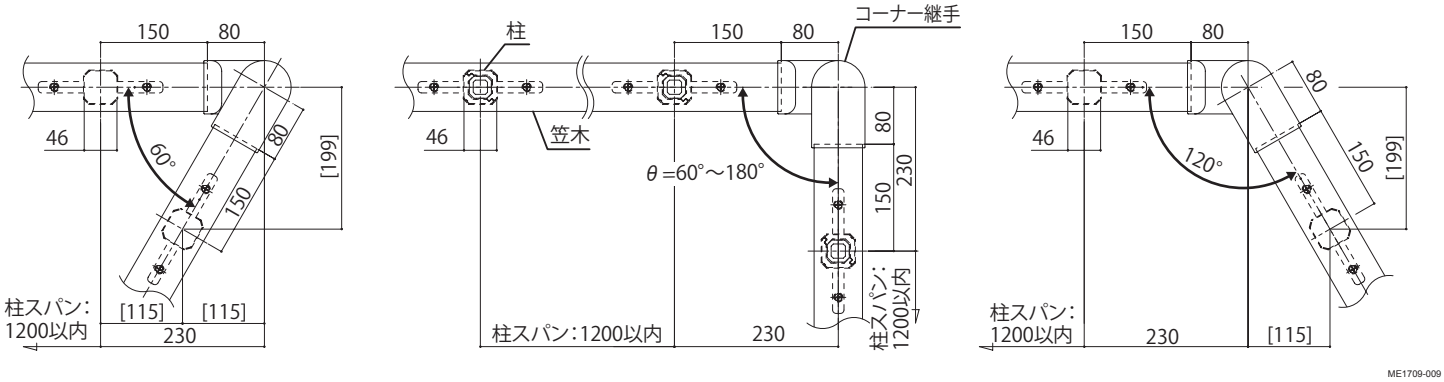
傾斜納まり

※＜ ＞内寸法は、H:1000 を示しています。
※[　] 内寸法は傾斜角度により異なります。現場合わせを行ってください。
※図の寸法は傾斜角度 40°を示しています。
※ベースプレート柱納まりの場合は、傾斜対応角度は 0°～ 10°となります。



コーナー納まり

※[　] 内寸法は傾斜角度により異なります。現場合わせを行ってください。

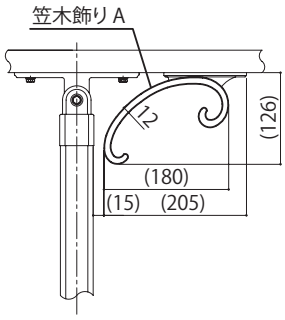


飾りオプション

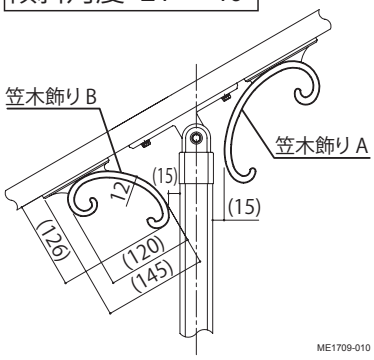
●笠木飾り

※笠木の傾斜角度が 20°を超える場合は、
笠木飾り A と B を組み合わせて取付け
てください。

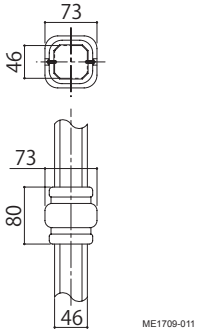
傾斜角度:0°～20°



傾斜角度:21°～40°

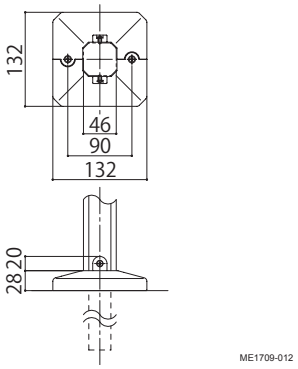


●柱飾り



●足元飾り

※本図は埋込み柱への取付を示し
ています。
傾斜用ベースプレートには必ず
取付けてください。



1 柱の設置

●足元飾りを取付ける場合は、「4. 足元飾りの取付け」を参照してください。
●モルタルの充填は、笠木の取付後に行ってください。

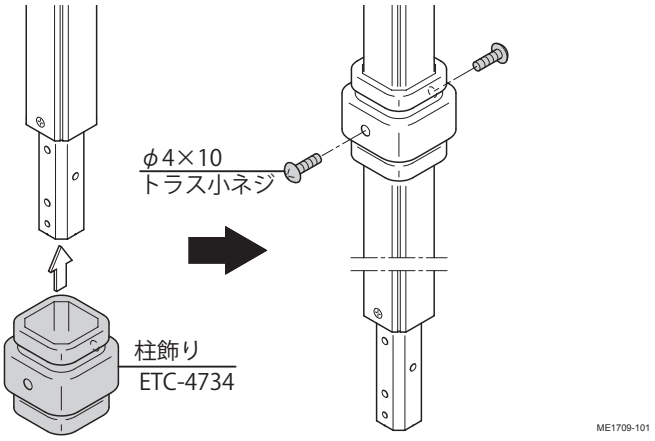
1－1 柱飾りの取付け

柱飾りを取付ける場合は、柱の埋込み前に取付けてください。

①柱飾りを柱下部から挿入してください。
②「納まり図」および下表を参照して位置を決め、ビスで固定してください。

●標準取付け位置

柱高さ :H	標準取付け位置
H:800	GL から 450mm
H:1000	GL から 650mm



1－2 埋込柱の設置

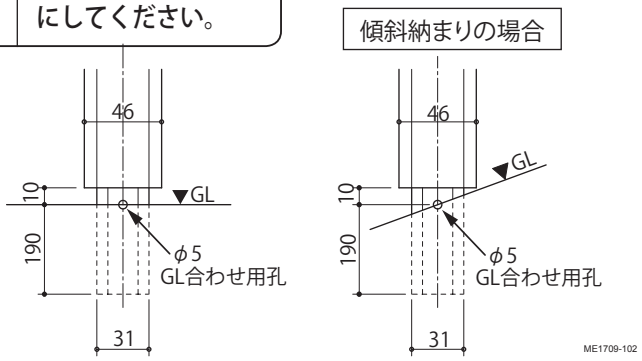
①「納まり図」で柱位置・レベルを確認してください。

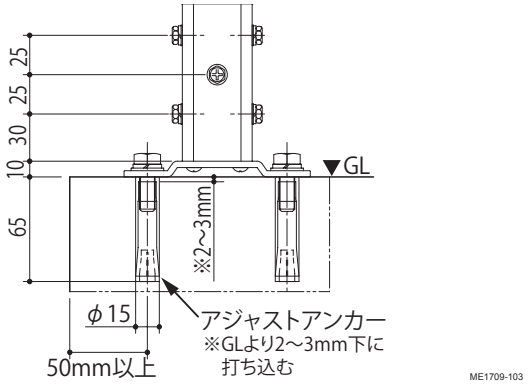
地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないよう柱位置を決めてください。

② GL 合わせ用孔を目安にして、柱を埋め込んでください。

●必ず、柱カバーを地面より 10mm の位置としてください。
●柱カバーを地面まで埋め込まないでください。
※柱カバーと芯材の隙間から水が抜けるしくみになっています。
※水の抜ける隙間をふさいでしまうと、柱の腐食および溜まった水の凍結による柱の破裂・破損の原因となります。

GL 合わせ孔を目安にしてください。





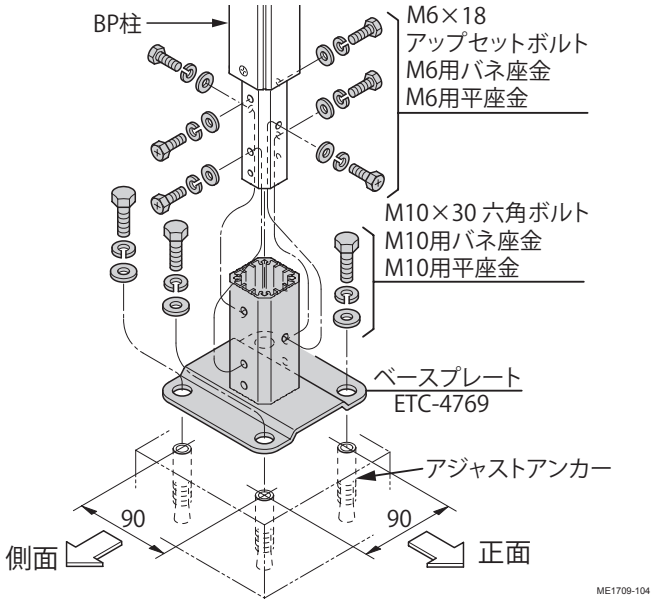
1－3 BP（ベースプレート）柱・水平地の設置

①「納まり図」で柱位置・レベルを確認してください。
② GL 面にφ 15mm・深さ 65mm の孔をあけ、M10 アジャストアンカーを、GL 面より 2 ～ 3mm 下に打ち込んでください。

●躯体に十分な強度があるか確認してください。
●躯体の端から 50mm 以上離して、アジャストアンカーを施工してください。

ドリルでの孔あけ時に発生する、コンクリートの粉を清掃して、アジャストアンカーを打ち込んでください。

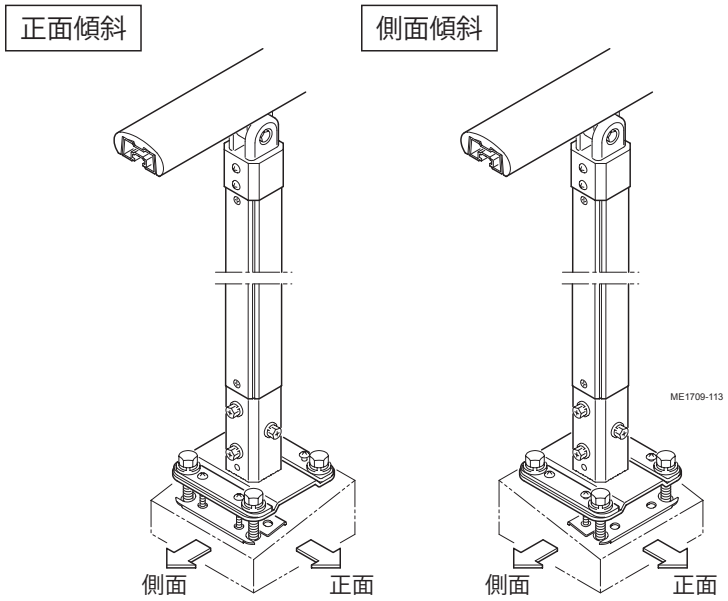
③柱をベースプレートに取付けてください。
④ベースプレートをボルトで固定してください。



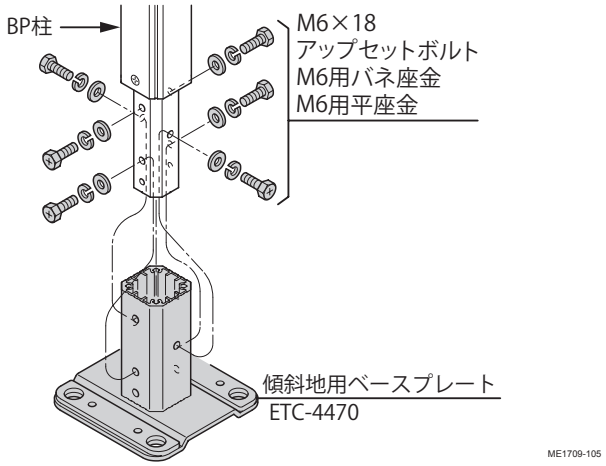
1－4 BP（ベースプレート）柱・傾斜地の設置

「正面傾斜」と「側面傾斜」で、施工方法が異なります。
(BP 柱傾斜最大角度 10°)

傾斜地用ベースプレートには、必ず、足元飾りを取付けてください。
※足元飾りを取付けについては、「4. 足元飾りの取付け」を参照してください。

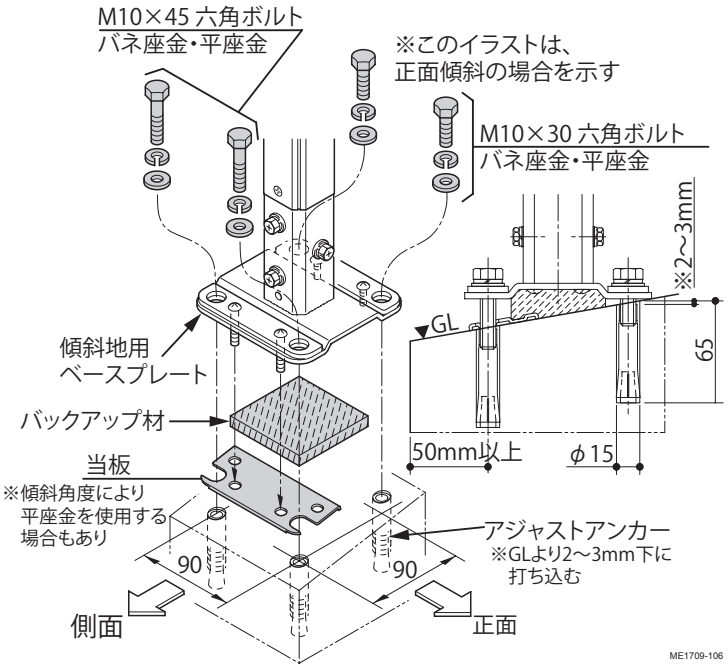


①「納まり図」で柱位置・レベルを確認してください。
② GL 面にφ 15mm・深さ 65mm の孔をあけ、M10 アジャストアンカーを、GL 面より 2～3mm 下に打ち込んでください。
③柱をベースプレートに取付けてください。



④当板、バックアップ材および角度調整ビスをセットし、ベースプレートをボルトで仮止めしてください。

- **傾斜下り側には M10 × 45 ボルト、反対側には M10 × 30 ボルトを使用してください。**
- **当板は、傾斜の下り側に取付けてください。**
- **バックアップ材は、角度調整ビスと干渉しないように、ベースプレート中央にセットしてください。**
- **当板のくぼみに角度調整ビス先端を合わせてください。**



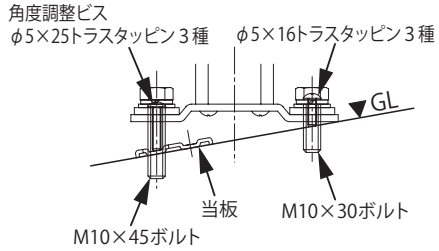
⑤角度調整ビスで柱の垂直を出し、M10 ボルトを増締めしてください。

- **角度調整ビスは、傾斜角度により使い分けが必要です。（次ページ「角度別調整方法」参照）**
- **傾斜角度により当板を使用せずに、平座金を使用する場合があります。**

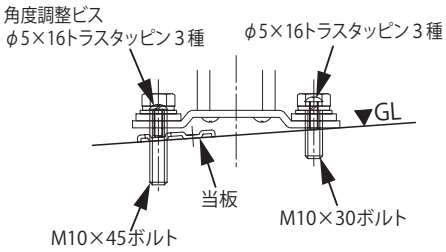
■角度別調整方法

正面傾斜の場合 （角度別のM10六角ボルトおよび調整ビスの使用方法）

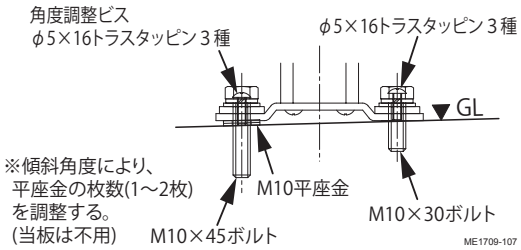
●傾斜角5°～10°の場合



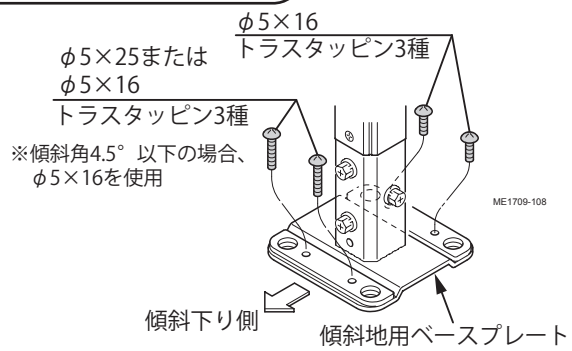
●傾斜角2°～4.5°の場合

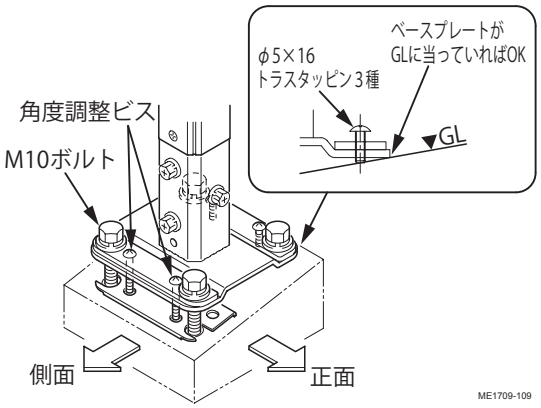


●傾斜角1.5°以下の場合



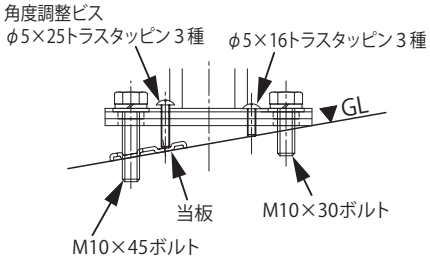
> **傾斜上り側について：**
> **ベースプレートと GL が均等に接していれば、トラスビス (φ 5 × 16) の調整は不要です。**



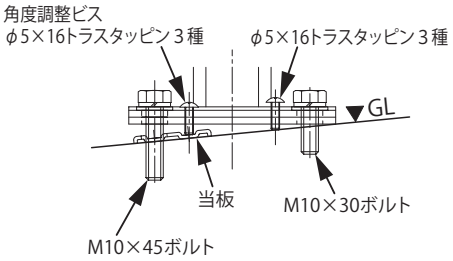


側面傾斜の場合 （角度別のM10六角ボルトおよび調整ビスの使用方法）

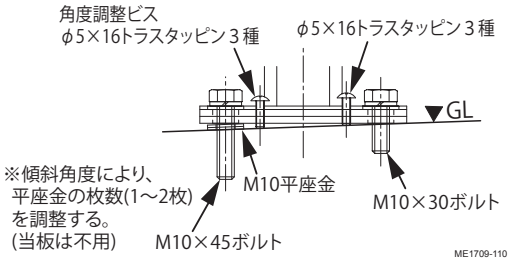
●傾斜角6.5°～10°の場合



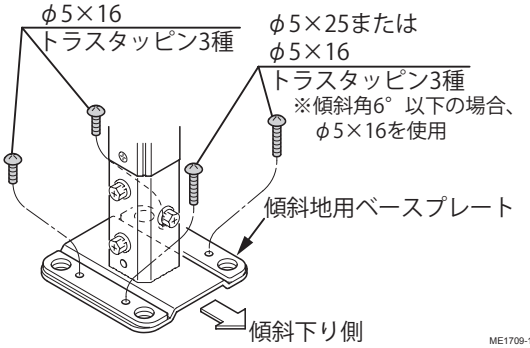
●傾斜角2.5°～6°の場合

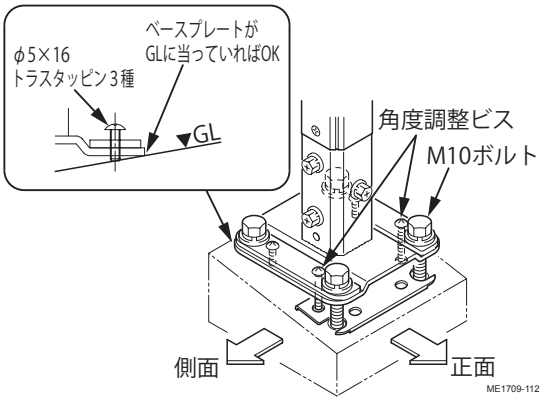


●傾斜角2°以下の場合



> **傾斜上り側について：**
> **ベースプレートと GL が均等に接していれば、トラスビス (φ 5 × 16) の調整は不要です。**





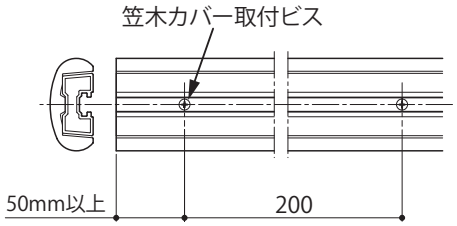
2 笠木の取付け

2－1 笠木の切詰め

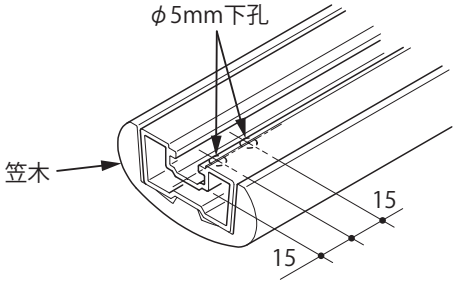
①必要に応じて、笠木を切詰めてください。

> **笠木カバー取付ビスから笠木端部までの長さが 50mm 以上となるように切詰めてください。**

②切断側の端部にφ 5mm の下孔を 2 ヶ所あけてください。



ME1709-201

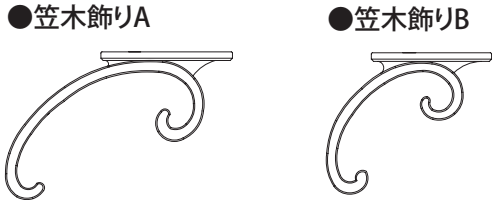


ME1709-209

2－2 笠木飾りの取付け

> **笠木飾りは、笠木の取付前に取付けてください。**

> **●笠木飾りには、A・B の２種類があります。**
> **● B は傾斜角度が 20° をこえる場合に使用します。**

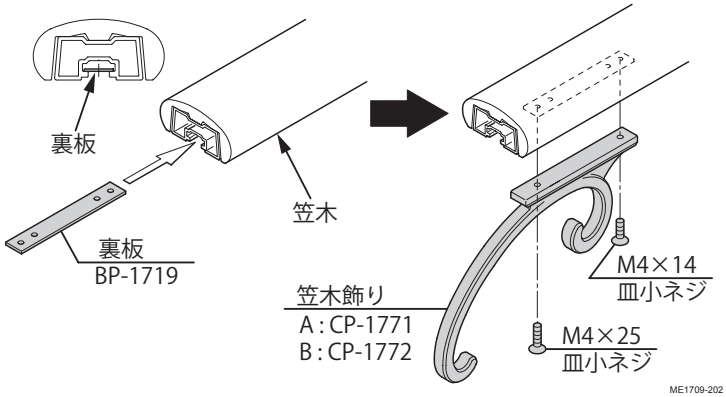


ME1709-203

①笠木の溝に裏板を差込んでください。
②笠木飾りを笠木に取付けてください。

⚠注意

笠木飾りと柱の間隔を、指の通る隙間分あけてください。
※柱との間隔が狭いと、指を挟みこむなどケガの原因となります。



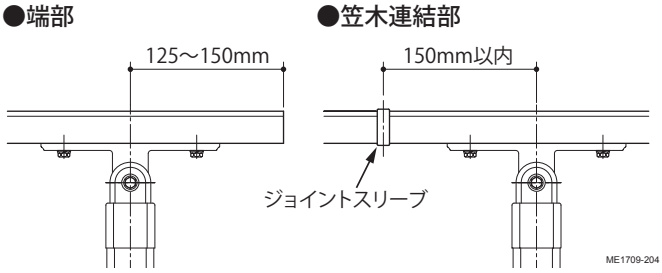
ME1709-202

2－3 笠木の取付け

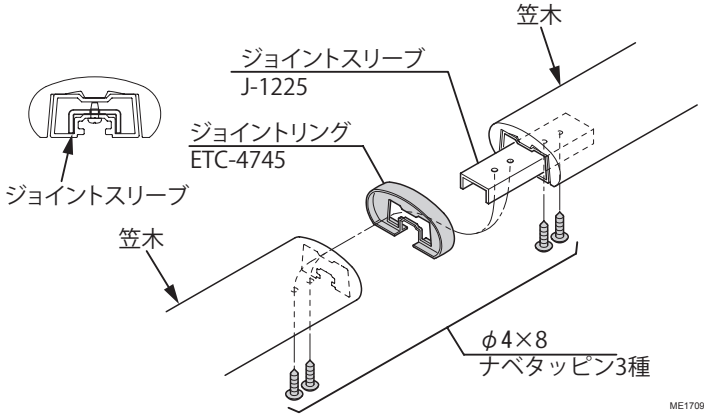
> **●端部笠木の張出し寸法は、ブラケット芯から 125 ～ 150mm で納めてください。**
> **●ブラケット上部以外にジョイントが発生する場合、ジョイント位置をブラケット芯から 150mm 以内にしてください。**

①笠木をジョイントスリーブとジョイントリングで連結してください。

標準納まり

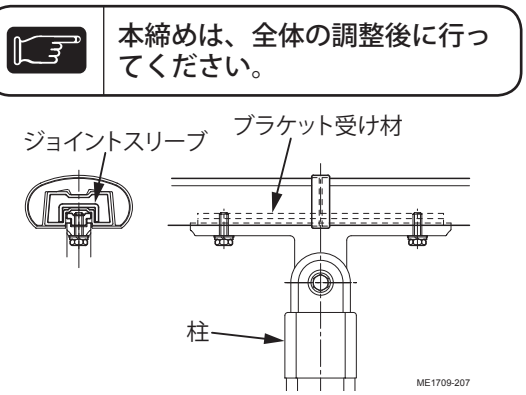


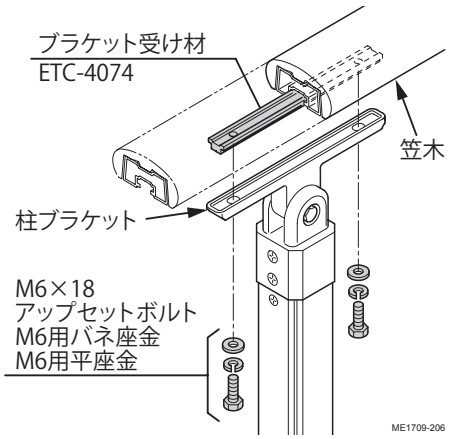
ME1709-204



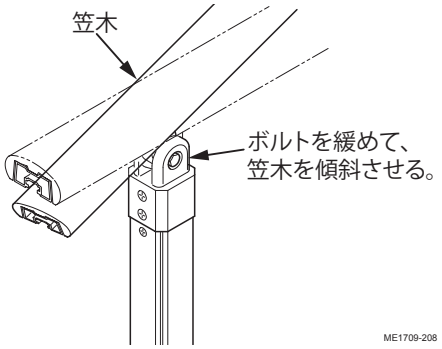
ME1709-205

②ブラケット受け材を笠木の端部から差し込み、柱ブラケットに仮止めしてください。



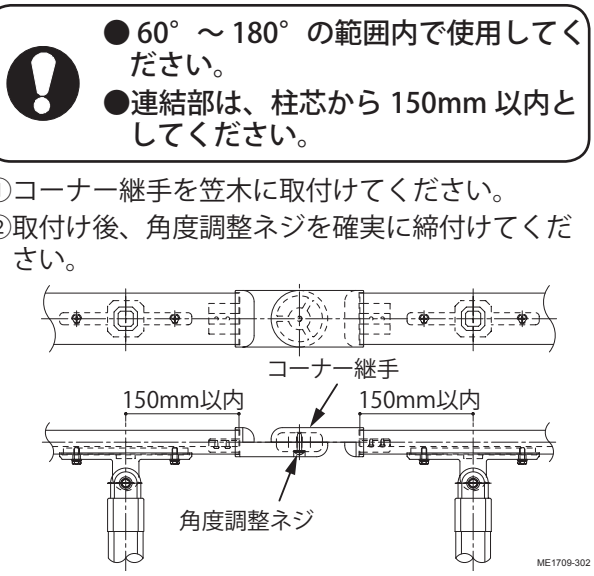


●傾斜納まりの場合
※ボルトを緩め、笠木を傾斜させてください。



3 笠木部品の取付け

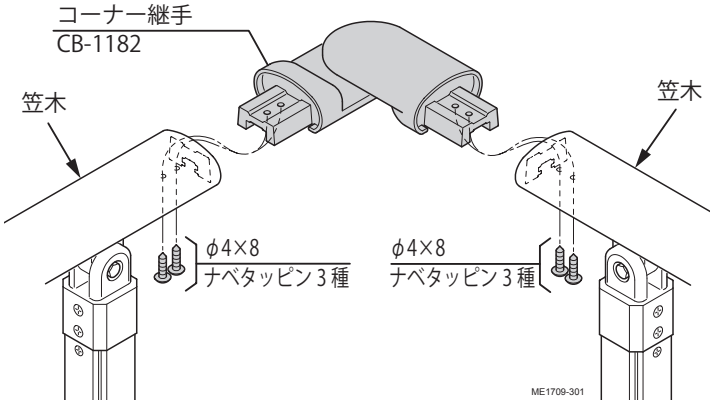
3－1 コーナー継手の取付け



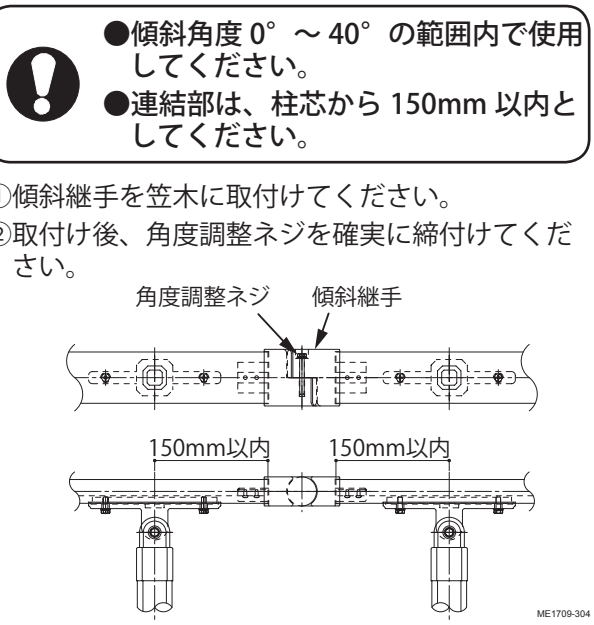
①コーナー継手を笠木に取付けてください。
②取付け後、角度調整ネジを確実に締付けてください。

⚠注意

継手の取付ネジは確実に締込んでください。
※締付けが不完全であると、継手が動き、指を挟むなどケガの原因となります。



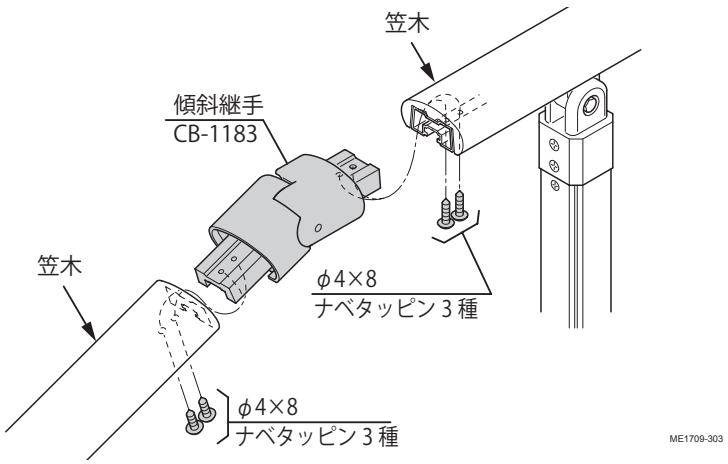
3－2 傾斜継手の取付け



①傾斜継手を笠木に取付けてください。
②取付け後、角度調整ネジを確実に締付けてください。

⚠注意

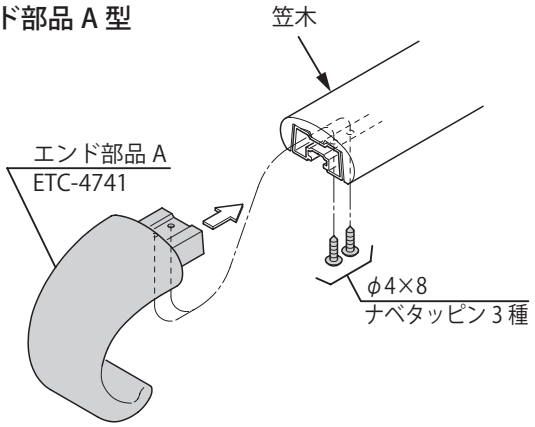
継手の取付ネジは確実に締込んでください。
※締付けが不完全であると、継手が動き、指を挟むなどケガの原因となります。



3－3 エンド部品の取付け

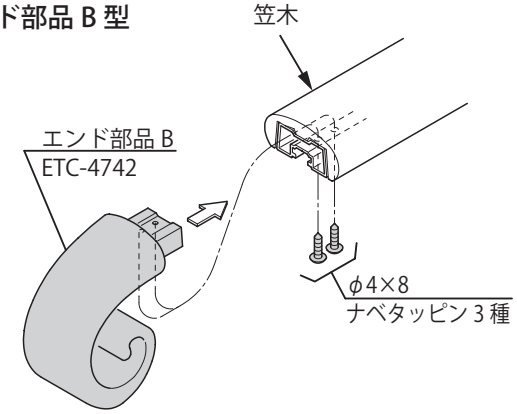
①笠木端部にエンド部品を取付けてください。

●エンド部品 A 型



ME1709-305

●エンド部品 B 型

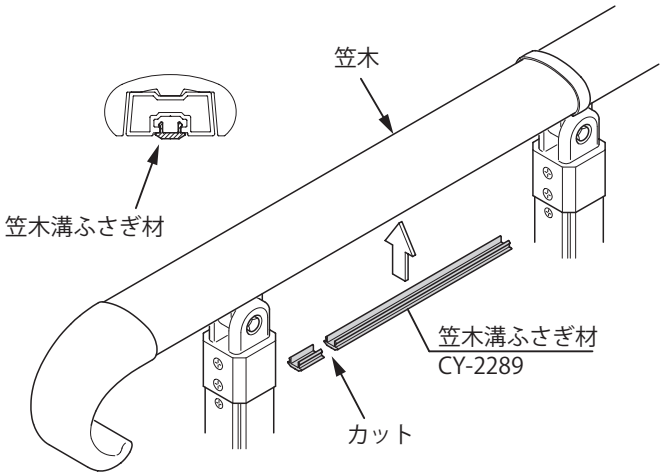


ME1709-306

3－4 笠木溝ふさぎ材の取付け（オプション）

笠木溝ふさぎ材は、各作業終了後に取付けてください。

①笠木溝ふさぎ材を必要な長さに切断し、笠木下部にはめ込んでください。



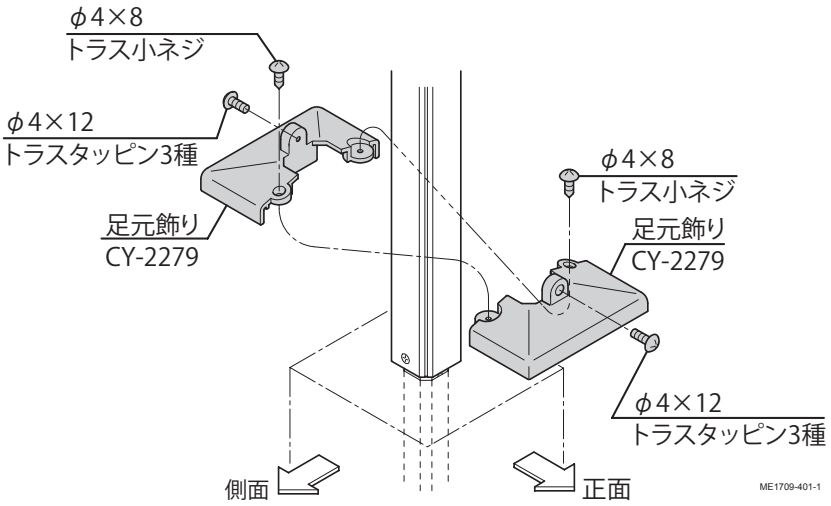
ME1709-307

4 足元飾りの取付け

●足元飾りを取付ける場合に参照してください。
●傾斜地・BP（ベースプレート）柱の場合は、必ず、足元飾りを取付けてください。

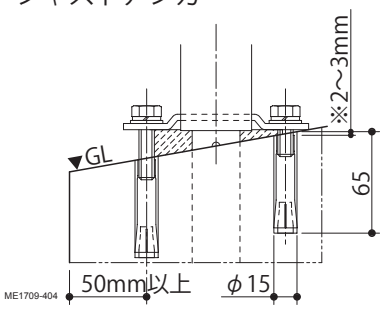
4－1 埋込柱・水平地の場合

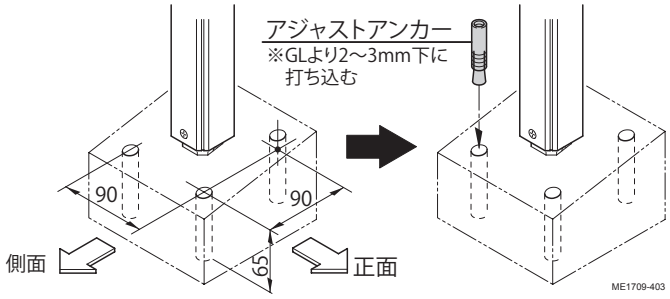
①足元飾りを柱に取付けてください。



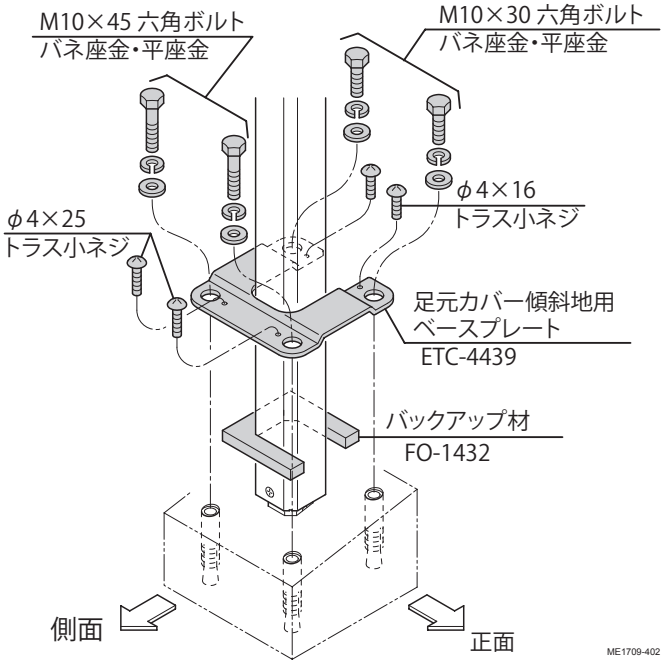
4－2 埋込柱・傾斜地の場合

①φ 15mm の孔を 4 ヶ所あけ、アジャストアンカーを打ち込んでください。

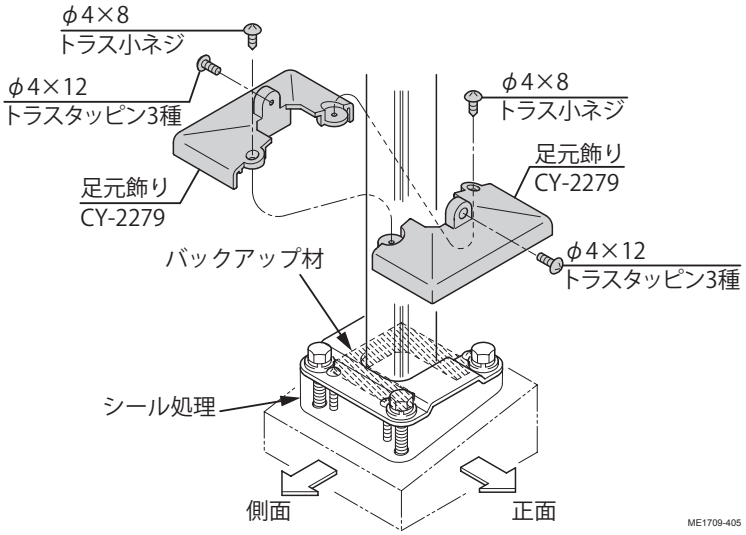




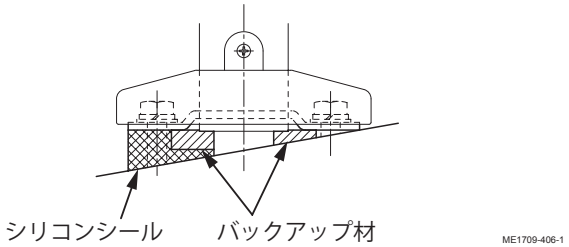
②足元カバー傾斜地用ベースプレートを固定してください。



③足元飾りを柱に取付けてください。

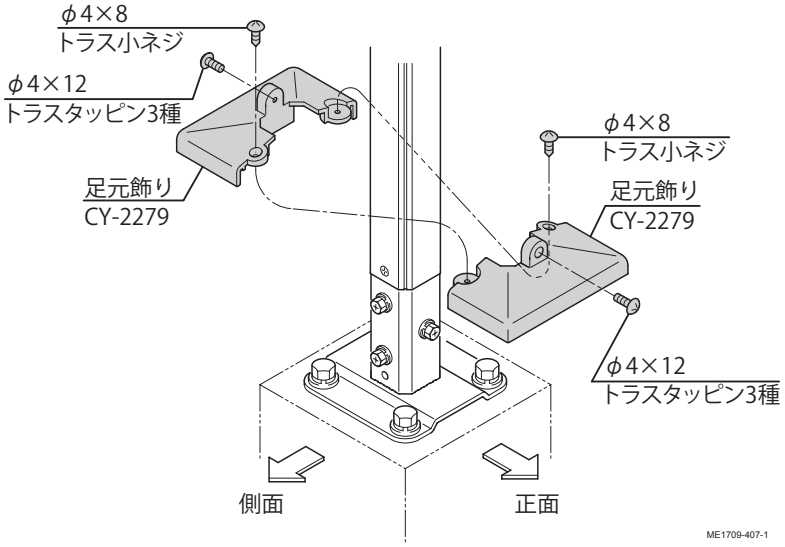


④足元飾りの周囲にシール処理を行ってください。
⑤必ずマスキングしてください。



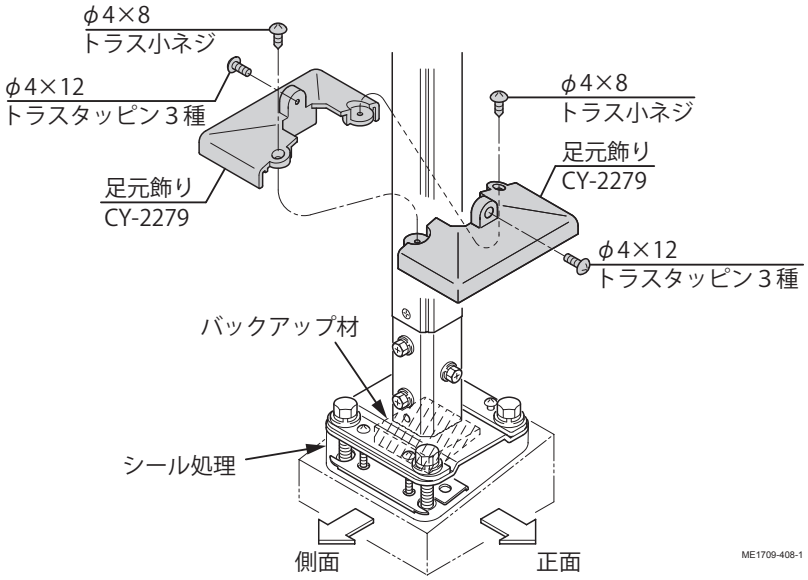
4－3 BP（ベースプレート）柱・水平地の場合

①足元飾りを柱に取付けてください。

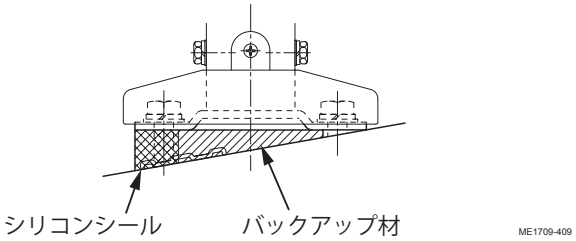


4－4 BP（ベースプレート）柱・傾斜地の場合

①足元飾りを柱に取付けてください。



②足元飾りの周囲にシール処理を行ってください。
③必ずマスキングしてください。



■施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年　　月　　日
施工工事店	TEL（　　）　　-
販売店	TEL（　　）　　-

株式会社LIXIL

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合せください。

お客様相談室
0120-126-001

LIXIL インターネットホームページ
http://www.lixil.co.jp